

藤岡小学校便り わらたけ

2025年6月6日(金)
四万十市立藤岡小学校
校長室から(文責清家)

いきいき すくすく 元気な わらびっ子 No. 7

【力がついたかな? 体力テスト】



上級生がお手本を見せてくれます。1年生は教室で「反復横跳び」の練習をしていたそうです。成果が出ていましたよ!

【専門の先生に教えてもらっています】



本校では、教科担任制を取り入れたり、民間の方のお力を借りたりしています。こうすることによって、教員一人ひとりの持ち時間数が平均化されると同時に子どもたちには質の高い学びが保障されています。

今年度は、教頭が理科と体育を専門で指導しており、空いた時間に担任は授業の準備や事務作業ができるようになっています。また、5・6

年生の家庭科は2年担任が受け持ったり、音楽は1年担任が全校を担当したり、外国語は中学校の免許を持っているあおぞら学級担任が指導したり、、、そして、3・4年の習字は読み聞かせにも来てくれている小島先生をお願いしています。(写真)

子どもたちは担任だけでなく、他の教員や地域の様々な方に指導していただくことで、人間関係の幅が広がり、安心感や信頼関係が生まれ、学校生活への満足度も上がると考えます。また、いつもと違う人に教わることで、新鮮さを感じ、「やってみよう」という学習へのモチベーションアップにつながるのではと期待しています。さらに、担任以外の先生と接する中で、「自分から聞く(たずねる)」力がつけば、主体的な学びの姿勢へとつながると考えます。そうなってほしいと強く願っています。

【はじめてのクラブ】

3年生以上の子どもたちで月に1回程度、クラブ活動を行っています。本来なら、それぞれの趣味や興味に合わせてクラブを選び、自分たちで活動を進めるのが目的ですが、少人数のため、(希望を取って)みんなでいろいろなことを楽しんでいます。今年度初めてのクラブは「プラ板でアクセサリ作り」。トースターの中で、ぐにゃぐにゃと曲がって縮む様子に目をぱちくり。



中村中一年生の先輩が遊びに来てくれました。「都道府県名と県庁所在地は絶対覚えちゃったから中学で困らんよ」とアドバイスしてくれていました。

コミュニケーション能力を伸ばすために

No.4でもお知らせしましたが、中村中学校・蕨岡小学校・蕨岡保育所では「5つの非認知能力(チャレンジ精神・心身の健康とたくましさ・自尊感情自己肯定感・コミュニケーション能力・ふるさとを愛する心)」の中で、コミュニケーション能力に重点を置いて取り組んでいます(もちろん、どの力も大事です)。コミュニケーション能力というと、「話せる・聞ける」ことだけだと考えられがちですが、「自分の考えを分かりやすく伝える力」「相手の気持ちを受け止める力」「協力して一つの目的を達成する力」が、大事になってきます。学校では、話し合い活動や友だちとの日常的なやりとり、また(学校通信のオモテ面で触れた)様々な方とのふれあいを通じて、コミュニケーション能力を育てています。これは、学力を高めるだけでなく、社会の中でうまく力を発揮し「よりよく生きる力」を育むためでもあります。

学校では

- 誰に対しても、気持ちの良い挨拶ができるよう取り組む。
- 自分の考えや思いを伝えあい、協働して課題解決する力を育成できるよう取り組む。



「しまじゅるパンフレットより」

家庭で

- 家庭内で挨拶を親から進んで行い、気持ちを伝えあう。
- 親子で、お互いに一日の出来事を話し、お互いにしっかり聴く。

地域で

- 子どもと話す機会があるときには、まず子どもの声に耳を傾け話を聞く。
- 子どもを見守り、あいさつ等の声掛けをする。

ご家庭でも、食事中に学校での出来事を聞いたり、お子さんの考えをじっくり聴いたりすることでコミュニケーション能力を伸ばすことができます。子どもたちが安心して自分の思いを言える、そんな場を学校と家庭、地域が一緒になってつくっていったらと思います。

いつもありがとうございます